



RI 会長テーマ

2016~2017 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

会 長 藤原 太伸
副会長 前野 良夫
幹 事 浜田 浩誠



会長指針

チーム大船渡西で
ロータリーを楽しもう

．．． 例 会 記 録 ．．．

月第週例会 2016年11月24日(木)

ソング : 奉仕の理想 ボックス : 29,000円 (報告者 千田喜一郎会員)
お客様紹介 : 特定非営利活動法人マザーリンクジャパン代表寝占理絵様 熊谷静香様 熊谷幸洋様
シンガーソングライター 濱守栄子様
本日出席率 : 50.00% 前回100% (メンバー 18名) (報告者 新沼 敏宏会員)

★ 会長の時間 藤原太伸会長



会長の時間を務めさせていただきます。

今年度最大のイベントであります、国際ロータリー第 2520 地区、地区大会を無事終える事が出来ホストクラブの会長としてまずは、ほっとしております。

会員の皆様、そして大会実行委員会の皆様には、事前の大会の段取り準備等そして、18 日から 21 日までの 4 日間、大会の式典の準備・運営・片付等本当にご協力有難うございました。そしてお疲れ様でした。

今回の地区大会は、準備・段取り等順調に行われておりましたが、肝心のリハーサルが時間の都合上思うように行われていませんでした。しかしいざ本番を迎えた所、会員の皆様の的確な判断・行動力のもと、若干の手違い等はありませんでしたが、式次第通り地区大会を無事終える事出来ました事に。RI 会長代理竹腰兼壽様・韓国の第 3640 地区の皆様・大勢の地区内外のガバナー各位、パストガバナー各位、韓国南原中央ロータリークラブの皆様、そして数多くのロータリアンの皆様が、帰り際に、大船渡西 RC の会員による手づくり感あふれる、心のこもった、地区大会で、大変楽しく、心安らぎ、心地よい地区大会でありました。との言葉を頂き、地区大会が大成功に終わったと確信しました。不行届きの点もあったとは思いますが、各会員の素晴らしい出会いと堅い友情の絆を深められ、実りある地区大会になったのではないかと思います。

最終作業の体育館の床養生片付は 22 日に行う予定でしたが 22 日の津波注意報により 23 日に行い、無事全作業を終えるかとは、出来た事をご報告させていただきます。

最後に地区大会のご苦労さまを、12 月 15 日に忘年会兼務にて行う事と致します。会員の皆様方そして奥様方の多くの出席で、盛大に行いたいと思っておりますので宜しくお願い致します。会員皆様のご協力有難うございました。そして地区大会本当にお疲れ様でした。



シンガーソングライターの濱守栄子様が新曲の宣伝にお出でになり
会員皆さんに CD を寄贈下さいました。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 全国ロータリークラブ野球大会事務局より

全国ロータリークラブ野球大会親睦大会出欠伺いが届いています。

開催予定 H29年5月～9月 開催場所 阪神甲子園球場 締切り 12月5日(月)

2 仙台ロータリークラブ 創立80周年記念大会の案内が届いています。

日時 2017年5月13日(土) 12:30～登録・受付

場所 ホテルメトロポリタン仙台 登録料 15,000円

エクスカージョン 日時 2017年5月14日(日) 9時～17時 参加費 10,000円

◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

齊藤俊明地区大会実行委員長より 地区大会の反省点などについてお話して頂きました。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

特定非営利活動法人マザーリンクジャパン代表 寝占理絵様 講話



- ★ マザーリンクの理念： いつの時代でも、どこに生まれても、全ての子どもにとって、子ども時代が幸せなものであるように。
母親であることに幸福感と誇りを持てる社会であるように。

★ マザーリンクの『ひとり親家庭』への支援

個別訪問での支援：陸前高田・大船渡・気仙沼の仮設に入居する約200世帯のひとり親家庭

★ マザーリンクが『個別訪問』でやってきたこと

- ・震災直後からの思いや、亡くなった家族に対する思い、離別した夫ついてや子育ての悩み、生活の悩み等 傾聴・相談
- ・子育てに関するアドバイス ・食糧支援や衣料支援 ・具体的な収入など生活状況についての調査

★ 個別訪問で見えてきたひとり親家庭の現状

『子ども三人いて3年間“ずっと一日一食だった”』『子ども5人。一日一食の生活がずっと続いた。何度も心中しようと思ったけど、誰の首から絞めようって考えているうちに夜明ける。子どもが多かったから死なずにすんだ』『子どもの靴も買えず小さくなった靴のかかとを踏ませて我慢させている』

『遺児家庭にある支援なく、私が死ねば子どもを進学させられたのに。』

『5歳の子どもの持つ20代のシングルマザー。痴呆で徘徊する曾祖母の介護をしていた祖母が津波で亡くなった。家事も子育ても介護も一人でやる。様子を見に、配達の仕事の合間に仮設と仕事を日に何度も往復する日が続いた。特養もいっぱい入れない。昨年夏、とうとう続かなくなり仕事を辞めた。彼女の収入は児童扶養手当と子ども手当だけ』『思春期の娘が震災以降おかしくなった。リストカットと自殺未遂を繰り返している。傍にいて何とかしたいけどどうにもならない。子ども三人養っていかないといけないから仕事に行く。』



★ 想像とは違ったこと

- 1、震災遺児家庭以外のひとり親家庭が生活に困窮していた！
- 2、小さな子どもがいる母子家庭よりも中学生、高校生のいる母子家庭が生活に困窮していた！

★ 母子家庭の貧困率と子どもの貧困率 ※貧困の定義は年収122万円以下

ひとり親家庭の貧困率全国58.7% マザーリンクが調査した180世帯の母子家庭90%

★ 被災地のシングルマザーが子どもと生き抜くための支援プログラム

パソコンの無料講習+ 在宅ワーク支援

ひとり親を亡くした子どもの支援大学見学への付き添い



★ 不登校の子どもや親への支援

学校に行けないままの子どもたちを救いたい！！そういった子ども達に必要なのは、心のケアでした。

心を癒す空間 心を癒す体験活動が出来る空間 心を癒す仲間が集う空間 安心出来る居場所

★ 僕らの学校を創ろう！プロジェクト

6月1日、気仙地域に子どもたちが心のケアを受けながら学習出来る

『おひさまの家』を開設しました。

17年前までお寿司屋さんだった建物。

場所が見つかるまでということ、奇跡的にお借り出来ました。

皆のお蔭でこんなにきれいに！！ここに不登校の子ども親や親戚の方が相談に来ます。



しかし、あくまでも仮の場所狭くて子どもたちが集えない、一部屋しかない、話が筒抜けで相談出来ない早く、子どもたちの心のケアできるこんな場所を創りたい！！

心を癒す空間心を癒す体験活動が出来る空間心を癒す仲間が集う空間安心出来る居場所

★ 『心のケア』の市民専門家を増やす為の公開講座

市民専門家を育成する為、公開講座を開き、皆に必要な知識を学んでいます。

被災地では圧倒的に「心のケアの専門家」が足りません。

これは『ひとり親家庭の支援』でも、『不登校の子ども支援』でも、要の事業でもあります。



このプロジェクトはまだまだ始まったばかりです！私たちの活動に参加して、一緒に学校を創りませんか！この地域の子どもの未来の為に、皆さんなりの方法で出来ることを！！

・活動の広報をする！！ ・場所の提供をする！！ ・建物の建築費用や運営 ・費用を支援する！！

★ 私を支えるマザーテレサの言葉

暗いと不平を言うよりも、あなたが進んで 明かりをつけなさい。

人は自分以外の誰かの為に生きたときから、本当の人生が始まる

ご清聴ありがとうございました。

『子どもたちの未来のために』

あなたは何をしますか？